



# 海のたより



8月マリンカップレース  
赤クラスのスタート  
中央に三連覇のブーメラン

目次	行事予定
表紙 蒲郡マリンカップレース P 2 Rクラス総合優勝ブーメラン P 3 Cクラス総合優勝弥栄 P 4 マリンカップ成績表 P 5 三河湾周航レース、ホーネット P 6 パールレースに参加して	8月30日 デニスコナーカップヨットレース ラグナマリーナカップヨットレース 兼MCC8月ポイントレース 9月13日 理事長杯ヨットレース 兼MCC9月ポイントレース 兼9月スモールレース

# 蒲郡マリンカップ Rクラス総合優勝、三連覇

「Boomerang」チーム代表 沢田一彦

毎年 真夏のイベントとして楽しみにしている「蒲郡マリンカップ」で 今回はレースコミティー担当を依頼されましたが 何とか今年もレースに参加したいと思い 「ペガサス」の磯部さんに本部船の出艇をお願いした所 快く承諾して頂きましたので 「Boomerang」チームから 3名のレース運営メンバーが「ペガサス」に乗船し 今年のコミティーをさせて頂きました。

「ペガサス」の磯部さんのお陰で「Boomerang」チーム（総勢=20名）は 「Boomerang」（J/92）と「Boomerang MJ」（SeaScape-27）の2艇がエントリー出来て 今年も「蒲郡マリンカップ」に 参戦をさせて頂きました。

所で 2週間前に開催された「全日本ミドルボート選手権」では散々な成績（総合16位/21艇参加）に終わりレース後の反省点として 他艇と比較してクロズホールドでの上り角度の悪さが大きな課題として残りました。今回の「蒲郡カップ」に於いては 本部船寄りの風上側からスタートをしたのが功を奏し 風下側スタート艇に比べて 大島を超えるまでは平均12° のリフトの風が吹き続き しばらくは風上先行をしていましたが 大島を超えて風が安定し出すと課題のクロズホールドでの上り角度の悪さで「ケーニッヒ」に抜かれて 「帆走区域灯標」をRクラス2位で回航しました。

しかし フリーでの帆走は先の「全日本ミドルボート選手権」対策で ジブを 135%に小さくし その分ジェネカーをマストヘッドに変更（しかしIRCレーティングは変わらず）した為 スピン展開艇に比べて 0.5ノット以上は先行が出来るようになり 今回のレースもジェネカーで追い付き Rクラスでトップフィニッシュが出来ました。



結果 R2クラス優勝・Rクラス優勝・ファーストフィニッシュ&総合優勝を 3年連続頂く事が出来ました。レース終了後は いつも素敵に準備されたバーベキューを楽しませて頂き 改めて運営の方々にお礼申し上げます。今年も楽しいレースをさせて頂き 有り難う御座いました。

**MCC海のたより8月号・MCC海のたより8月号・MCC海のたより8月号**



## Cクラス総合優勝、弥栄

弥栄<横山 26・イオロス>です。

今回、伝統あるMCC 蒲郡マリンカップクルーザークラスで優勝でき、とても光栄です。

これもうだるような暑さの中でも、最後まで緊張感が途切れずに頑張ってくれたクルーと愛艇のおかげです。

当日は、風も弱く、しかも左右に振れるので大変でしたが、クルーがしっかりと風を読んでくれたおかげで、会心の走りことができました。

ずっとテルテルに集中していたのでわからなかったのですが、上マーク（A灯標）を折り返して、後続との大きな差を目の当たりにしてびっくりしました。

断トツでフリートの前を走るの、それは気持ちのいいものですが、私はこんな経験はこれまでにないですから、コースを間違っていないか？などといらぬ心配をして仲間には笑われました。

うれしいことにクラス内では着順、修正とも1位でした。

しかし、レーサークラスも含めた総合では、4位といった結果でしたので、上には上がっているものです。

「お祭りレースだけれども、腕に覚えのある艇もたくさんエントリーするからきっと面白いよ」と紹介されて参加しましたがそのとおりでした。今日の良い気分をバネにして、さらに上を目指して練習しよう皆で話しています。

次は、防衛艇であり、挑戦艇として良い成績が残せるよう頑張りたいと思います。

最後になりましたが、行き届いた運営をしていただいた事務局の皆様感謝いたします。



レース名 第17回蒲郡マリンカップ

日時 2015年8月2日(日)

コース 三谷(スタート)-小島(東)-帆走区域灯標-小島(東)-三谷(フィニッシュ)

クラス C1(青)		Start時刻(時:分:秒) 11 0 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	C1	青総合	C1
弥栄		C1	Aiolos 26	710.0	.8970	12	13	34	4414	3959	1	1	1	1	4
あや	375	C1	YAM21R&CF	770.0	.8280	12	26	04	5164	4276	3	3	2	2	9
キャロル	4177	C1	YAM23	755.0	.8440	12	24	35	5075	4283	2	2	3	3	10
ホープ	6496	C1	YAM21C	780.0	.8170	12	29	43	5383	4398	4	4	4	4	11

クラス C2(青)		Start時刻(時:分:秒) 11 0 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	C2	青総合	C2
百恵	-	C2	YAM31EX	710.0	.8970	12	38	40	5920	5310	1	5	1	9	20
ミストラル VI	-	C2	プリアン32	710.0	.8970	12	40	06	6006	5387	2	6	2	11	22

クラス C3(緑)		Start時刻(時:分:秒) 11 10 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	C3	緑総合	C3
さつき	5277	C3	Baltic 35	675.0	.9440	12	32	44	4964	4686	1	3	1	5	15
オリーブ	-	C3	YAM33	700.0	.9100	12	39	09	5349	4868	2	5	2	6	16
アクティブ	3605	C3	YAM30CII	700.0	.9100	12	45	0	5700	5187	3	6	3	7	18
影虎	6299	C3	Dufour325	695.0	.9170	12	46	05	5765	5287	4	7	4	8	19
ファルコン	6612	C3	Yokoyama29	710.0	.8970	12	48	41	5921	5311	5	8	5	10	21
パンドーラ	101	C2	Ventdefete	710.0	.8970	12	52	31	6151	5517	6	9	6	12	23
サザンクロスII	-	C3	YAM31C	700.0	.9100	14	55	55	13555	12335	7	10	7	13	24

DNF

クラス R1(緑)		Start時刻(時:分:秒) 11 10 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	R1	緑総合	R1
ベベⅢ	4825	R1	PION9 F&PE	700.0	.9100	12	24	42	4482	4079	1	1	1	6	7
うらなみIX	5404	R1	J/92	655.0	.9730	12	26	37	4597	4473	2	2	2	8	12
パファロー	3074	R1	YAM30S	685.0	.9300	12	38	40	5320	4948	3	4	3	11	17

クラス R2(赤)		Start時刻(時:分:秒) 11 20 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	R2	赤総合	R2
ブーメラン	5131	R2	J/92	650.0	.9800	12	21	40	3700	3626	1	1	1	1	1
スーパーウェーブVI	5550	R2	SLOT31	650.0	.9800	12	26	49	4009	3929	2	5	2	2	2
ルートリス	4932	R2	SLOT31	650.0	.9800	12	38	12	4692	4598	4	8	3	9	13
スーパークロウ	4750	R2	SWING34	640.0	.9960	12	36	58	4618	4600	3	7	4	10	14

クラス R3(赤)		Start時刻(時:分:秒) 11 20 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	R3	赤総合	R3
ケーニッヒ	5650	R3	J/V9.6CR	625.0	1.0200	12	24	15	3855	3932	1	2	1	3	3
オデッセイ	3173	R3	SEAM 31 II	630.0	1.0110	12	26	27	3987	4031	2	3	2	4	5
アルミス5	4774	R3	J/V9.6CR	630.0	1.0110	12	26	34	3994	4038	3	4	3	5	6
ブーメランMJ	6698	R3	Seascape 27	625.0	1.0200	12	29	49	4189	4273	4	6	4	7	8



深夜のスタート

# ホーネット、三河湾周航ナイトレース優勝

ホーネット 正木

会社で雑談の中、夜、ヨットレースをやると話したら、危なくないのかと聞かれた。

「危なくないですよ。それに夜間航行の練習も必要なんです。」と答えておいた。そもそもナイトレースを設定した所以を聞いたことがない気がする。夏の日中は暑いので夜やるのだろうと昔は思っていたが、今思うに、クルーザーであれば夜間航行も有り得るし、パールレースもあるので、その練習を兼ねているということだろう。

今回は参加艇が3艇と少なく物足りなさ是否めないが、次の機会には航海灯がたくさん灯ることを期待したい。ホーネットのメンバーは梅村さんを含めて6名、風も弱いので何とかなるだろう。

この弱い風はフィニッシュまで吹き続けてくれるのか、それとも朝には風となってしまうのか。

東寄りの風の中、ハーバー寄りから3艇が固まってスタート。アルミスの艇速が良く豊橋マークをトップ回航、ホーネット、オデッセイが追いかける。生田へ向かうスピランで、ホーネットはアルミスを抜き、生田、一色をトップ回航。

今回、スーパーウェーブはコミッティー。レース途中、得点はどうなるのか考えてみる。「コミッティー担当で出艇しない時は今年から参加艇平均点を与える」という決まりからすると、2位を取っても同得点。何とか1位を取って年間成績につなげたい。しかし、そう簡単には勝たしてくれない。

一色からは上りとなるが、風がおちて何とかセールがはらむ程度、引き潮に乗って野島へ艇を向ける。すると後方、霧の中からアルミスが現れる。ちょっとした風の掴み具合ですぐに追いつかれる距離だ。

野島に辿り着き、豊橋方向へ艇を向けるが無風の中、湾外の方向へと流れていってしまう。バックの状態。どうすることもできずにいるとアルミスも同じ状態となる。その内潮流の強いところを外れたのか、少しずつ渥美の方へ進む。風は益々弱まり、僅かな風を掴んで進もうとスピンを揚げたり下ろしたりする。

風が少ないと眠気も増してくる。時折、眠りの淵に差し掛かる、頭がぐんとなっては持ちこたえる。

ベタ風で舵も利かない。風はどこからか吹いてくるのか。12時を回った頃、田原の風車の南側3基が急に回り出し、その方向から海面が濃くなった。すかさずピンアップ、リーチングで豊橋マークに向かう。きわどいながらもブイをかわし、スピランでハーバー入口のフィニッシュを目指す。最後はあっけないほど風を受けて快走、14時間にも及んだレースが終わった。

風の中、南側に位置していたのが功を奏し、先に風を掴むことができたのが勝因となった。

## 参加艇の一口コメント

### ホーネット

スタート後、アルミスに直ぐに抜かれた。

豊橋回航後、スピランで抜き返し.....

途中、オデッセイがリタイアしアルミスとホーネットのマッチレースとなった。軽風の中、逃げては追いつかれしながら、何とかトップのポジションをキープ。帰りの豊橋手前で南風を先に掴んで逃げ切り、何とか優勝。



無風、霧の篠島沖

### アルミス

先月の3人にプラス1人、4人での参加。

ホーネットが先月4人で優勝だったので我々もと狙いました。

レース途中、何度かホーネットに先行する機会もありましたが.....

結局、18分差をつけられ残念な結果となりました。



### オデッセイ

コースミス。一色の奥、矢作ブイまで行ってしまいました。

時間も厳しくリタイアしました。

# パールレース参戦記

ホーネット 榊原

ホーネットチームの一員として初めてパールレースに参戦させて頂きました。

普段はランナー、ホープに乗船し三河湾内のレース中心の私が、外洋で180マイルと経験したことのない長丁場に緊張しての参戦です。今年はIRC-Bクラス13艇の戦い。前日からの回航、当日の準備も整い、午前10時 スタート地点へ出航です。今年のメンバーは中村さん、十八日さん、三戸さん、多田さん、梅村さん、榊原の6人です。

天気も快晴、風もまあまあ吹いている。午前11時号砲とともにスタート。南風に乗れ、最初の目標：神の島へ暗礁と定置網を気にしながら5ノット程度で目指す。スタートして神の島までは2時間くらい走っただろうか？ここまでは順調だ。

ここからスピニアップし次の目標：利島へ向かう。ライバル（目標）とする艇も少ない中、ひたすらスピランが続いた。私の仕事は、30分交代でスピントリムを担当したが、スピードをいかに引き出すか、維持するかに試行錯誤の帆走でした。

浜名湖沖あたりを6~8ノットで快調に走っていると、海流の影響か反流の向かい潮か対地速度が1~2ノットマイナスしていることに気付いた。どのコースを選択するのか悩むが、岸よりコースを選び1時間ほど走ったが、対地速度に変化は見られない。我慢の走りが続いた。

夕方になっても風は15~20ノット、波のうねりも強く、三河湾との状況の違いを実感することができた。日が暮れても強風は続き、わずかにぼんやりと見える先行艇の明かりを目標にコース維持にて快調にスピランが続いた。夜が深くなると共にますます強風となったが、8~10ノットで快調に進む中、突然事件が起きた。

突風とともに艇のバランスが大きく崩れたと同時に、スピシートが風で持って行かれた。何とか体制を戻したのは良かったが、赤スピが破断してしまった。即ジブに切替えたが、力不足でスピードは7ノット程度。気が付けば先行艇のわずかな明かりも見えなくなり、残念だが遅れたようだ。

長い夜が明けるまでの殆どの時間は20~25ノットの強風が続き、早朝7時前に利島が見えてきた。ブランケットを気にしながら利島に近づき、強烈な吹き降ろしにも耐え無事通過した。ここから上り気味のコース、大島ハイウェイに乗りたいが強烈な横流れで上りきれない。フィニッシュ予定は13時位と聞き、江ノ島までの最短距離を目指し頑張っ船を走らせた。

風が南に振れようやく青スピニアップ。風が落ち始める。潮を気にして三崎方向にジャイブ、そろそろ江ノ島に向けてジャイブ、風の弱い中ジャイブ操作ミス。スピがフォワステイに絡まり最悪。悪戦苦闘、何とかスピンを下ろし再度アップ。この間、フリゲート艦のまん前、しっかり監視いただけた。

江ノ島に近く、沖側より先行の2艇が確認できる、思ったより近づいている。三崎よりのコースが良かったと思われる。ナルミと思われる艇を追いかけフィニッシュを目指した。土曜、昼過ぎ13時45分フィニッシュ！ 江ノ島港に入り、片付けをしていると、既にフィニッシュした船のクルー達からレースを振り返る会話が聞こえてきた。レース結果が何気に気になっていたところ、中村さん着艇申告が終わり戻ってこられた。IRC-Bクラス暫定2位との朗報を頂いた。最終成績はクラス2位、総合4位を獲得することが出来ました。

今回、27時間に及ぶ外洋のロングレースを初めて経験させて頂きました。常に風が吹き艇も安定したスピードで走らせることができ、楽しい2日間を過ごすことができました。お疲れ様でした。

中村、追加コメント

今回はミドルボート選手権直後の参加でメンバーが思うように集まらず参加できるかどうかが一番の問題でした。榊原、梅村の応援を得られて何とか6名での参加を決めました。

外洋東海での年間成績、ナルミと競り合っていて何とかしのぎ頑張りたい。結果は東海での成績は優勝、目標を達しました。結果を見ればもう少しで.....

いやいや、どの艇にもミスやアクシデントはあります。このメンバーでこの成績、よく頑張れました。プロパーコースから大きくは離れずジャイブを何回も繰り返した事、諦めずに頑張った事が結果につながったと思います。デニスコーナー、チャンピオンシップも頑張っ外洋東海年間総合を目標に頑張ります。これからも応援よろしくお願いたします。



フィニッシュ直前



前夜祭



航跡図



江の島にて